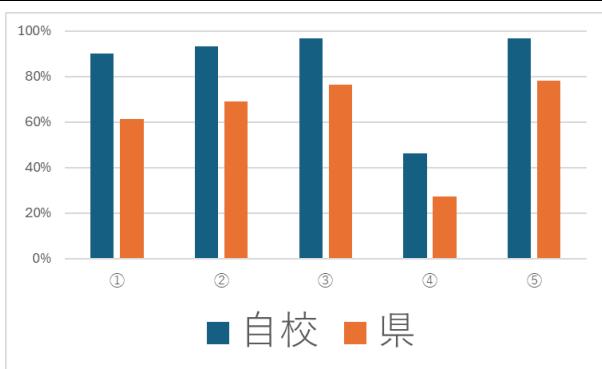


## ◆生活習慣に関する「質問紙（意識）調査」から

### 【 数値が特に高かった項目 】

調査の項目	
①	理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用していますか
②	読書は好きですか。
③	国語の授業で先生は、あなたの学習のうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えてくれますか。
④	将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか。
⑤	国語の授業で、先生は、あなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこかを伝えてくれますか。



#### 分析

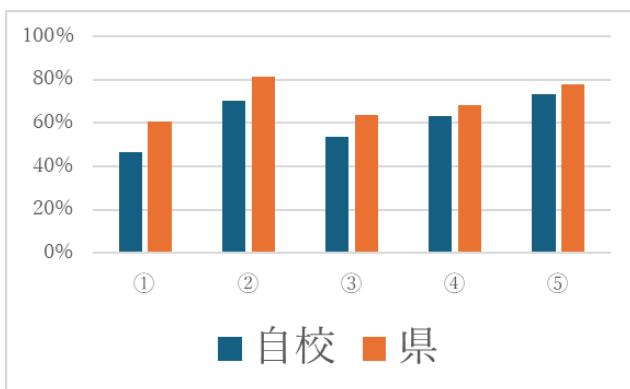
- ・授業等で学んだことを生活の中で生かそうとしている。どんな学習も、前向きに取り組んでいる。
- ・読書に意欲的に取り組んでいる。



**取り組み**・学校のリーダーとして精一杯がんばっているので、そのことを価値付けして児童に伝えていく。

### 【 数値が特に低かった項目 】

調査の項目	
①	国語の勉強は得意ですか。
②	5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか。
③	あなたは、自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理することができると思いますか。
④	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。
⑤	あなたは、自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーションを作成することができると思いますか。



#### 分析

- ・ICTの機器を使っての情報整理やプレゼンテーション作成などにやや苦手意識がある。



**取り組み**・ICT機器を使う機会を増やす。

## ◆令和7年度全国学力・学習状況調査《 6年生 国語科 》

### 全体の概要

- 教科全体の平均正答率は、県、全国とともに大きく上回っている。
- 知識・技能、思考・判断・表現は、県平均正答率は、大きく県平均を上回っている。
- 領域別では、読むことが、県、全国とほぼ同じ。他は、県と全国を大きく上回っている。

観点	分析結果・自校の課題	改善に向けた具体的取り組み
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"><li>・無解答が少ない。</li><li>・どの問題も県、全国を大きく上回っている。</li></ul>	<p>→</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・大切なことをしっかりと押さえて、読解に関する知識を系統的に指導していく。 例→説明文だったら 「はじめ→中→おわり」 「序論→本論→結論」</li><li>・昨年度からの取り組みとして、引き続き、全員同じ課題を書くのではなく、個人のつまずきに応じて練習する漢字を変えるという取り組みを学年の実態に応じて取り入れる。</li></ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"><li>・無回答が少ない。</li><li>・目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして、必要な情報を見つけることに課題がある。</li></ul>	<p>→</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・文章の中から大切な情報（キーワード、ヒント）を見つけることを意識させて学習にとりくませる。</li><li>・授業の中で、<ol style="list-style-type: none"><li>① 何が問われているのか</li><li>② そのために今まで学習した知識・言葉をどう活用するのか考えさせる。</li></ol></li></ul>

## ◆令和7年度全国学力・学習状況調査 《 6年生 算数科 》

### 全体の概要

- 教科全体の平均点は、県、全国平均とほぼ同じ。
- 知識・技能は、県、全国平均とほぼ同じ。思考・判断・表現は県平均を大きく上回る。
- 領域別にみると、どの領域も県、全国とほぼ同じ。

観点	分析結果・自校の課題	改善に向けた具体的取り組み
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"><li>・方眼上の5つの図形の中から台形を選ぶことができない。1組の辺が平行になると、いう台形の性質についての理解が浅いことが理由として考えられる。</li><li>・数直線上に示された数を分数で書くことができない。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・学習のまとめとして、活用力を問う問題に取り組み、深く理解させる。</li><li>・キュビナ（AI型教材・学習eポータル）を活用して、個人に合った学習を行い、知識・理解を深める。</li></ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"><li>・10%増量した液体は、増量前の液体の何倍かという問題の正答率が低い。 正答は、     1.1倍であるが、0, 1と答えた児童が、半数いる。     10%は0, 1倍ということは、理解できているが、増量した液体の割合と増量後の液体の量の混同が考えられる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・計算はできているが、その意味の理解ができていないので、問題文の読み取りの力を高める取り組みを行う。 ① 何が問われているのか ② 文の中にヒントがあるので、その中からキーワードを見つけることを指導する。</li><li>・もとめた数が何なのか問い合わせる。</li><li>・たつじんテストを実施、分析し、指導に活かす。</li></ul>